

暮らし・福祉の満足度向上

高齢者等外出支援タクシー料助成事業

1,200万円

タクシー利用時の運賃の一部を助成することにより、免許証の返納や公共交通機関が発達していない地域において移動が困難な「交通弱者」の外出を支援します。さらに、コロナ禍の影響を受けながらも事業継続に取り組んでいる市内運輸業者の活性化にもつなげます。

地方税統一QRコード導入事業

2,013万5千円

納税手段の選択肢を増やし、納税者の利便性を確保するために、市税（市・県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）の納付書に地方税統一QRコードを表示させ、家にながらスマートフォン決済による納税ができるよう、システム改修を行います。さらに、キャッシュレス納税を推進し、対面での接触機会を減らすことにより、感染症拡大防止を図ります。

安心・安全なまちづくりの拡大

ため池等監視システム導入事業

650万円

リアルタイムで水位状況を把握し、台風などの異常気象時に適切なタイミングで事前・直前放流を実施するために、大正池、塚池、敷地池およびノ坪池に監視カメラおよび水位計を設置し、LTE回線を利用した遠隔監視システムを導入します。さらに、システムには、ため池を管理する土地改良区などからアクセス可能とし、官民協働による治水対策を推進します。

市民提案型まちづくり推進事業

260万円

さまざまな地域課題が山積し、自治体だけでは十分な対応が困難になってきている現状に対し、市民（団体等）が主体となり、柔軟な発想で地域課題解決のためのプロジェクト・事業を提案していただき、審査・選考のうえ、市が支援することにより、市民と行政が連携して課題解決を図ります。

鴨島公民館駐車場整備事業

6,215万4千円

施設利用者や周辺住民の利便性の向上および地域の活性化につなげるために、鴨島公民館に隣接する旧鴨島体育館跡地を駐車場として整備し、約120台の駐車台数を確保します。また、イベント開催時などにおける周辺道路の混雑を緩和するために、北側に隣接する道路を拡幅するほか、既設の西側駐車場の一部を修繕します。

持続可能な地域づくりと市役所の変革

新ごみ処理施設整備・運営事業

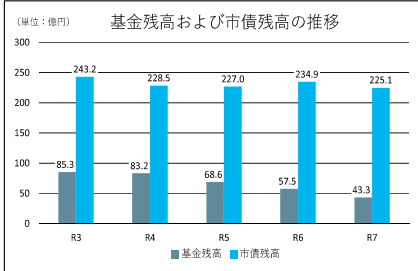
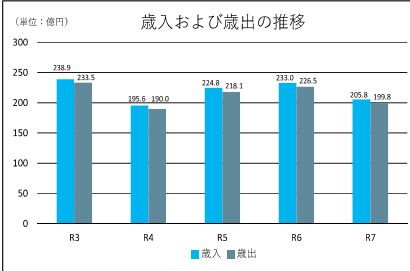
8,980万7千円

新ごみ処理施設整備事業の長期的かつ安定的な事業の実施のため、施設的设计・施工および運営に係る業務を事業者が一括して行うDBO（Design：設計、Build：施工、Operate：運営）方式により実施します。また、事業の実施に先駆けて、事業者の募集・選定を行い、経済性や環境面に優れた、安心、安全、安定的な処理を行うことのできる施設を整備します。

今後の財政見通し（令和4年度当初予算編成後）

令和4年度当初予算編成後に財政見通しを更新しました。

更新前の財政見通しでは、令和7年度に基金が枯渇して赤字となることをお知らせしましたが、更新後の財政見通しでは、令和7年度で基金が43.3億円確保できる状況まで改善を見込めることとなりました。



●問い合わせ 財政課 ☎22-2221 FAX22-2244



令和4年度当初予算

6本柱



子育て・教育の満足度向上

民間保育所等施設整備事業

1億6,370万6千円

「認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園」は、経年劣化による施設の老朽化が進み、園児の安全・安心の確保および教育保育環境の充実のために、施設整備および防犯対策の強化を図ります。また、定員の増加を図ることで、待機児童の発生防止につなげます。

ちびっこプラザ子育て支援センター運営事業

2,673万1千円

高度化、多様化する利用者のニーズに対応するため、施設の運営を民間事業者に業務委託します。業務委託後は、地域子育て支援拠点事業と託児事業について、これまで休所日としていた日曜日および祝日を開所日とし、本市の子育て支援の活性化を図ります。

移住定住・にぎわい創出の魅力度向上

はばだけ!!若者応援プロジェクト事業

68万1千円

若者を中心として構成される団体や意欲ある個人が提案するイベントや事業を募集し、採択された事業に対し、ふるさと納税の仕組みを使ってインターネット上で資金を調達する「ガバメントクラウドファンディング（GCF）型ふるさと納税」を活用して寄附金を募ります。集まった寄附金は令和5年度に支給し、事業を支援します。

インターハイ開催事業

912万8千円

本年夏にインターハイが四国で行われます。本市はバドミントン競技（会場：日本フنون市民プラザ）およびサッカー競技（会場：ヨコタ上桜スポーツグラウンド）の開催を予定しています。競技のために訪れた高校生の記憶に残る大会となるよう大会運営に努めます。



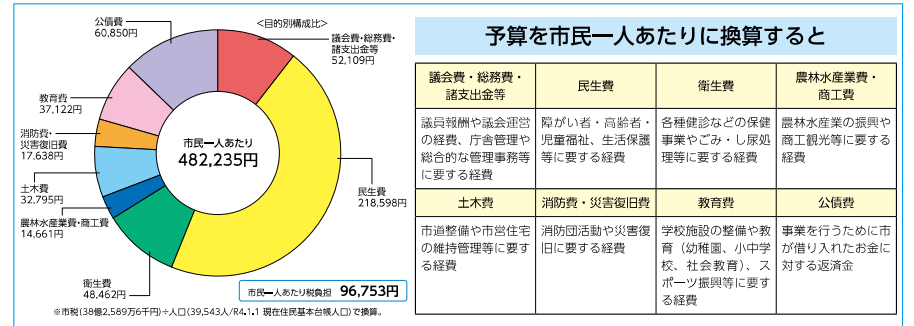
▲インターハイポスター

成長する産業づくりの拡大

コワーキング・シェアオフィスおよびポケットパーク運営事業

535万3千円

市内外の企業や起業を目指す方の支援や交流を促進するため、都市部企業の誘致に利用できるスペースを兼ね備えたコワーキング・シェアオフィス「Ki-Da」を活用し、新たなビジネスや雇用創出、地域経済の活性化を図ります。また、日本フنون市民プラザの隣にポケットパークを設置し、中心市街地の活性化や賑わいの創出を図ります。



予算を市民一人あたりに換算すると

議会費・総務費・諸支出金等	民生費	衛生費	農林水産業費・商工費
議員報酬や議会運営の経費、庁舎管理や総合的な管理事務等に要する経費	障がい者・高齢者・児童福祉、生活保護等に要する経費	各種健診などの保健事業やごみ・し尿処理等に要する経費	農林水産業の振興や商工観光等に要する経費
土木費	消防費・災害復旧費	教育費	公債費
市道整備や市営住宅の維持管理等に要する経費	消防団活動や災害復旧に要する経費	学校施設の整備や教育（幼稚園、小中学校、社会教育）、スポーツ振興等に要する経費	事業を行うために市が借り入れたお金に対する返済金